



報道関係者 各位

平成 31 年 2 月 1 日 (金)

【照会先】

大分労働局職業安定部

部 長 越橋 健太郎

労働市場情報官 石井 晴次

電話 097-535-2090(内線 313)

大分県の雇用情勢 (平成 30 年 12 月分)

○ 有効求人倍率 「1.57 倍」 (前月と同水準)

- ・ 前月と並び過去 3 番目の高い水準を維持
- ・ 正社員有効求人倍率 過去最高値を更新し 1.32 倍 (九州ブロックで 12 か月連続 1 位)

- ・ 県内の雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。
- ・ 有効求人倍率 (季節調整値) は、前月 (1.57 倍) と並び、過去 3 番目の高い水準を維持。
- ・ 有効求人倍率 (季節調整値) は、平成 27 年 2 月から 47 か月連続で 1.0 倍以上。
- ・ 有効求人数 (季節調整値) は、前月比 1.2% 増と 2 か月連続の増加。
- ・ 有効求職者数 (季節調整値) は、前月比 1.1% 増と 4 か月連続の増加。
- ・ 正社員有効求人倍率 (原数値) は、前年同月比 0.11 ポイント上回り、過去最高値を更新。
- ・ 就業地別有効求人倍率 (季節調整値) は、前月と同水準の高い水準を維持。

(※平成 29 年 12 月以前の季節調整値は、新季節指数により改訂されています。)

1. 求人倍率の状況

- (1) 12 月の有効求人倍率 (季節調整値) は、有効求人数 (同) が 28,156 人と前月に比べ 1.2% 増加し、有効求職者数 (同) は 17,967 人と前月に比べ 1.1% 増加となったことから、前月と同水準の **1.57 倍** となりました。(昭和 38 年 1 月から集計)
- (2) 正社員有効求人倍率 (原数値) は、前年同月を 0.11 ポイント上回る **1.32 倍** となり、平成 29 年 6 月から 19 か月連続の 1 倍台を維持しました。(平成 17 年 4 月から集計)
- (3) 就業地別有効求人倍率 (季節調整値) は、前月と同水準の **1.71 倍** となり、高い水準を維持しました。(平成 17 年 2 月から集計)

2. 求人の状況

新規求人数 (原数値) は 8,500 人と前年同月比で **6.6% 減少** しました。

これを主要産業別で見ますと、建設業 (11.0%)、宿泊業、飲食サービス業 (6.5%)、運輸業、郵便業 (2.3%)、生活関連サービス業、娯楽業 (1.0%) で増加となり、情報通信業 (▲33.1%)、製造業 (▲17.0%)、サービス業 (▲15.4%)、卸売業、小売業 (▲12.0%)、医療、福祉 (▲0.7%)、で減少となりました。

3. 求職の状況

新規求職申込件数 (原数値) は 3,194 人と前年同月比で **6.6% 減少** しました。

このうち常用フルタイム新規求職者数 (同) は 2,123 人と前年同月比で 6.1% 減少しました。

内訳は、在職者 885 人 (▲4.3%)、離職者 1,130 人 (▲6.0%)、無業者 108 人 (▲20.0%) となっています。

離職者を離職理由別にみますと、事業主都合 237 人 (▲6.7%)、自己都合 841 人 (▲6.9%) となりました。

4. ハローワーク別有効求人倍率の状況

ハローワーク別の有効求人倍率 (原数値) を見ますと、最高は大分所の 1.93 倍 (前月 : 1.85 倍)、最低は別府所の 1.26 倍 (同 : 1.22 倍) となりました。

5. 雇用保険受給者の状況

雇用保険受給者実人員については、4,064 人と前年同月比で **2.2% 減少** しました。